

部 局 経 営 方 針

平成23年度

薩摩川内市

部局名	水道局	部局長名	岩下 満志
------------	-----	-------------	-------

部局内の 経営資源	当初予算	57.3 億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		43人	9人	52人

①部局の使命 (組織の存在価値)	<p>●水道局の使命は 「市民が安全・安心で、安定した生活を継続・維持できるよう、生活環境の整備改善を進めること、併せて、企業の経済性を発揮しながら、計画的かつ効率的な事業運営を行い市民福祉向上に資することである。」</p>	②組織目標像	<p>【施策の目標像】 (1) 持続可能な健全経営を目標とする</p> <p>【組織の目標像】 (1) 限られた職員による効率的な事務執行のできる組織を目指す</p>
-----------------------------	--	---------------	---

平成23年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標 (めざそう値)	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況 (年度中間)	⑧年度末の達成状況
管理運営の合理化 【水道管理課】 【上水道課】	(1) 水道事業の民間業務委託等による経営の合理化	① 多様な運営形態の事例研究と課題等の把握に努める	○ ① 経営合理化に向けて調査研究中	
水道事業の統合 【上水道課】	(1) 平成28年度までに、全水道事業を、1 上水道、2 簡易水道事業に統合する。 (2) 事業統合により経営管理、事業運営の合理化を図る。	① 厚生労働省への水道事業変更認可申請 (木場茶屋簡易水道編入) ② 祁答院地区統合整備事業 秋上浄水場施設整備 上手・黒木地区の非常時用連絡管整備 L=1,880m	○ ① 計画通り施行中 ○ ② 概ね計画通り実施 (実施設計業務委託完了)	
水道料金収納率向上 【水道管理課】	(1) 過年度滞納分収納率の対前年度比プラス	① 特別徴収 (夜間・臨戸) 及び停水措置の計画的な実施 ② 誓約書の作成等滞納管理の強化 ③ コンビニ収納の普及・啓発に努める。(H22 取扱件数 上水 15,219 件, 簡水 1,964 件)	○ ① 停水措置は計画に基づいて、毎月実施している。 ○ ② 誓約に基づき、相談があった者に分納による滞納管理を実施している。 ○ ③ コンビニ収納の普及は延びている (H23. 9月末現在取扱件数上水 8,965)	

部 局 経 営 方 針

平成23年度

薩摩川内市

				件（対前年度比 2,310 件増, 簡水 888 件（対前年度比 2 件増）		
水道施設の計画的な更新 【上水道課】	(1) 施設の更新 (2) 老朽管の更新	① 丸山浄水場自動運転機器更新 ② 中央水源地紫外線照射設備工事（樋脇） ③ 盛水水源地外遠方監視設備工事（入来） ④ 石堂地区送配水管布設工事（東郷） L=3,280m ⑤ 上水道 L=3,690m ⑥ 上甌地区の基幹改良配水管 L=2,975m ⑦ 下甌地区の基幹改良配水管 L=3,089m	△ ○ ○ ○ ○ ○	① 計画より遅れている。 ② 計画通り実施 ③ 概ね計画通り実施 ④ 計画通り実施 ⑤ 概ね計画通り実施 ⑥～⑦ 計画通り実施（実施設計業務委託完了）		
給水サービスの向上 【上水道課】	(1) 3階直結給水の検討	① 水圧調査結果に基づく対象条件の整備	○	直結増圧式給水設計 施行基準（案）の作成		
予算の計画的執行 【上水道課】 【下水道課】	(1) 建設事業の年度内執行・年度内完成	① 計画的, 効率的事業執行 ② 早期発注に努める。 ③ 無理・無駄を省いた効率的な事務執行により, 建設予算の繰越を最小限に抑える。	△	〔上水道課〕 ①～③ 計画より遅れている。 〔下水道課〕 ①～③ 概ね計画通りに進んでいる。		
生活排水対策の推進及び下水道事業の経営改善 【下水道課】	(1) 下水道事業への接続率向上に向けた方策の検討	① 補助制度等の調査検討の実施	△	下水等の公共下水道事業への接続, 下水道区域外における小型合併処理浄化槽設置整備事業への補助, 公共下水道（川内処理区）整備区域の見直し等を総合的に検討。		

部 局 経 営 方 針

	<p>(2) 公共下水道(川内処理区)の接続率向上 200戸の新規接続を目標とする。 H23.3月末の接続率 54.9%</p>	<p>① 向田・宮里地区では、未接続家屋所有者への接続依頼文等の配布 ② 平佐地区では、説明会の開催及び未接続家屋所有者への戸別訪問の実施</p>	<p>○ ①② 平佐地区の平成23年4月1日供用開始区域(199戸)について8月に課職員全員で戸別訪問を実施。また、工事及び接続についての地元説明会は4月から5回実施して周知を図ってきた。今年は初めて平佐地区の夏祭りにおいてチラシ等の配布、相談窓口を設置して普及活動を実施した。</p>		
	<p>(3) 農業集落排水事業入来地域(入来中部処理区・大馬越処理区)の接続率向上 5戸の新規接続を目標とする。 H23.3月末の接続率 入来中部 54.6% 大馬越 65.9%</p>	<p>① 入来中部処理区・大馬越処理区の未接続家屋所有者への戸別訪問又は接続依頼文等の配布</p>	<p>○ ① 未接続者への接続依頼文書を配布して接続を促した。入来中部処理区において3件の新規接続があった。</p>		
	<p>(4) 公共下水道、農業・漁業集落排水及び地域下水処理対象地区外での小型合併処理浄化槽の普及整備</p>	<p>① 小型合併処理浄化槽設置整備費補助金制度の周知を図る。</p>	<p>○ ① 広報掲載による補助金制度の周知を図った。5人槽で226基、7人槽で53基、10人槽で2基、単独浄化槽からの切替え17基の申請があった。</p>		
<p>下水道区域の見直し 【下水道課】</p>	<p>(1) 公共下水道(川内処理区)区域の見直し</p>	<p>① 平成23年度中に全体計画の見直しを実施</p>	<p>○ ① 下水道事業団と協定を結び、作業進行中である。</p>		

部 局 経 営 方 針

平成23年度

薩摩川内市

<p>⑦年度中間総括</p>	<ul style="list-style-type: none">・水道事業経営合理化に向け平成28年度の水道事業統合を目指している。事業統合に併せて検針業務等の民間委託を行えないかの検討、研究を進めており、業者等への聞き取りを行った。・過年度水道料金収納率の対前年度比増に向け、年間計画に基づき、毎月、停水を伴う滞納整理を実施している。平成23年9月末の上水道事業過年度未収金収入は32,367,690円（収納率38.87%）で、対前年度比で収入額が3,330,235円増、収納率が5.24%増となった。・上水道整備事業に係る委託・工事関係業務は一部を除き概ね計画通り進めることができた。・下水道工事の円滑な施工及び工事終了後の接続推進を図った地元説明会の開催、戸別訪問の実施、接続依頼文書等の配布に加え、今年は駅東の平成通りにおいて開催された、平佐地区の寄奥城夏祭りにおいて下水道に対する相談窓口を設置する等して普及活動に当たった。
<p>⑨年度末総括</p>	